

今後の管理のポイント

- ✓ 分けつの発生を促進させる適切な水管理を行いましょ
- ✓ 使用時期を見ながら、適期に雑草防除を行いましょ
- ✓ 補植用苗は速やかに処分し、いもち病の発生を抑えましょ

1. 気象経過

- 4月の気温は平年より高く、日照時間は平年より長く、降水量は平年並みでした。4月10日～13日には最高気温が25℃を超え、4月30日には降雪を記録するなど、寒暖の差が大きくなりました。
- 5月第1半旬の平均気温は平年より低くなりましたが、第2半旬以降は平年を上回って推移しました。日照時間は第1～2半旬に平年より長くなり、第4～5半旬は少照となりました。降水量は全般に少なめで第1半旬及び第4～6半旬に降雨がありました。5月8日、14日及び28日には瞬間最大風速で20m/s を超える強風が吹きました。

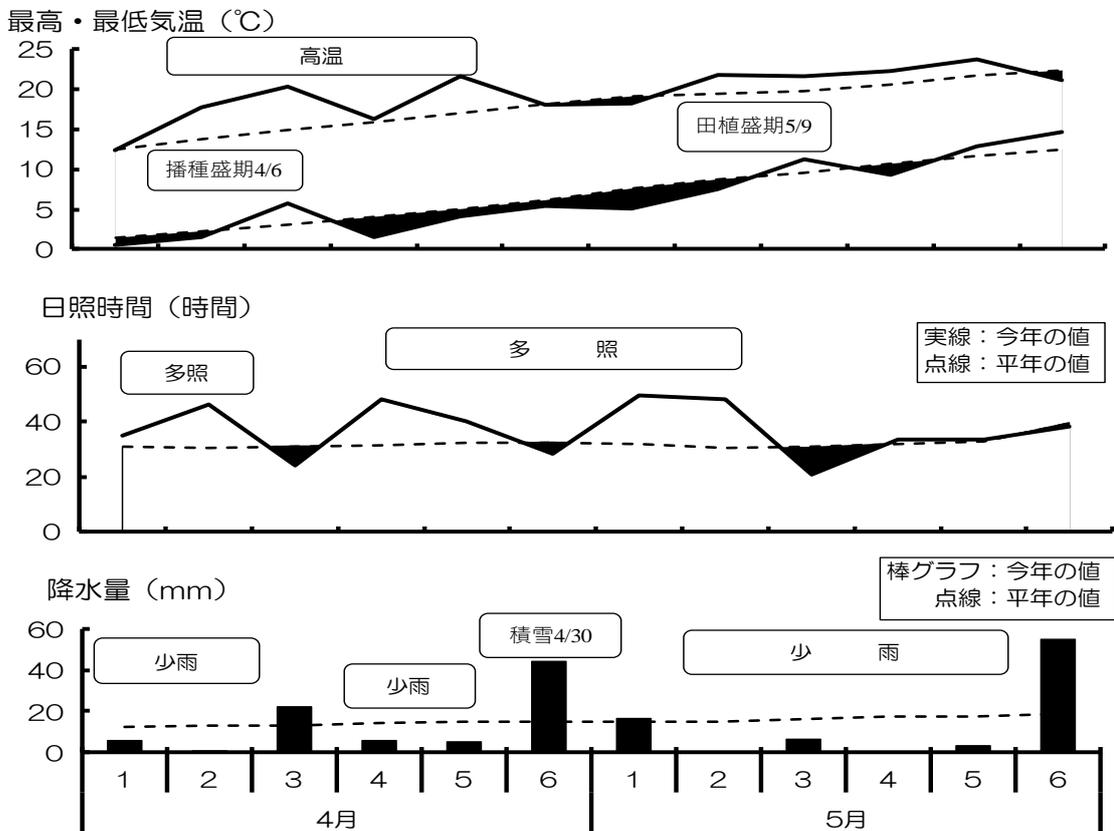


図1 4・5月の気象 (古川アメダス)

2. 播種・田植え状況

- 管内の播種始期は平年より1日早く、盛期・終期は平年より2日早くなりました。育苗期間中は最高気温の高い期間があり高温障害も散見されましたが、概ね良好に経過し、病気の発生は比較的少ない傾向となりました。
- 田植盛期は管内全体として平年並となりました。

表2 管内の播種・田植状況

	播種			田植		
	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
管内全体	3月29日 1日早い	4月6日 2日早い	4月17日 2日早い	5月2日 1日遅い	5月9日 平年並み	5月17日 3日早い
県全体	4月2日 平年並み	4月11日 平年並み	4月22日 1日遅い	5月3日 1日早い	5月10日 1日早い	5月22日 平年並み

※「始期」は作付見込み面積の5%、「盛期」は50%、「終期」は95%が進行した時期とし、平年差は前5か年（平成29年～令和3年）との比較

3. 生育概況（6月1日現在）

- 生育は、ほ場により差があり傾向がわかりにくいですが、全平均では草丈・葉数は平年並、茎数は平年を上回っています。5月は風が強い日が多く、田植え後に植え傷みが発生したほ場も多く、初期の生育が停滞したと推察されます。現在は平年並みに回復してきていますが、5月中旬に田植えしたほ場では茎数が平年を下回るほ場が多い傾向です。

表3 生育調査結果

品種名	地区名	田植月日	田植時			6月1日			備考
			草丈(cm) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	植付本数 (本/m) (平年比)	草丈(cm) (平年比)	茎数(本/m) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	
ひとめぼれ	大崎市三本木	5月4日 (+1)	13.6 (115%)	2.2 (-0.1)	93 (121%)	24.2 (97%)	159 (121%)	5.7 (-0.2)	
ひとめぼれ	加美町小野田	5月16日 (-1)	14.4 (87%)	2.9 (-0.6)	60 (86%)	23.6 (103%)	67 (84%)	4.8 (+0.1)	
ササニシキ	大崎市古川	5月7日 (-2)	14.3 (96%)	2.8 (+0.2)	77 (100%)	25.6 (98%)	97 (97%)	5.6 (+0.2)	
つや姫	色麻町四竈	5月4日 (+1)	16.4 (132%)	3.4 (+0.1)	82 (125%)	26.9 (114%)	200 (232%)	6.4 (+1.3)	前年比・差
だて正夢	大崎市三本木	5月15日 (-1)	15.4 (102%)	3.2 (+0.1)	81 (94%)	27.7 (109%)	77 (91%)	4.7 (-0.4)	前年比・差
金のいぶき	大崎市三本木	5月14日 (+4)	15.9 (92%)	3.7 (+0.1)	82 (161%)	23.3 (77%)	100 (93%)	5 (-0.9)	前年比・差
まなむすめ	加美町宮崎	5月10日 (-4)	14.9 (89%)	2.9 (0.0)	129 (110%)	29.6 (117%)	227 (175%)	5.3 (0.0)	
ゆきむすび	大崎市鳴子温泉	5月23日 (+1)	19 (120%)	3.2 (-0.3)	65 (130%)	12.9 (77%)	65 (130%)	3.3 (0.0)	前年比・差
みやこがねもち	大崎市岩出山	5月17日 (-1)	13.2 (95%)	2.3 (-0.5)	104 (103%)	20.6 (90%)	111 (94%)	4.8 (+0.2)	
平均 (平年値のあるほ場のみ)		5月10日 (-1)	14.1 (96%)	2.6 (-0.2)	93 (104%)	24.7 (101%)	132 (114%)	5.2 (+0.1)	

※田植日の+は遅いことを、-は早いことを示す。

※平年比・差は前5か年（平成29年～令和3年）の平均値との比較
平年値のないほ場は前年比・差での比較

4. 今後の管理

1) 水管理 **活着期～分けつ期は2～3cmの浅水管理**

水管理は稲の生育を調整し、その後の収量・品質に影響する重要な管理です。天候や生育状況に応じて、適切な水管理を行いましょう。

- ✓ 2～3cmの浅水管理にすることで水温を上昇させ、分けつを促しましょう。
※ 低温が予想される時は5～6cm程度の深水とします。

- ✓ 根の活力維持のため、間断かん水と中干しを行いましょう。中干しは目標茎数に達したら、早めに行いましょう。

※ 目標茎数の目安

ひとめぼれ 410本～460本/㎡

ササニシキ 480本～510本/㎡

だて正夢 350本～400本/㎡

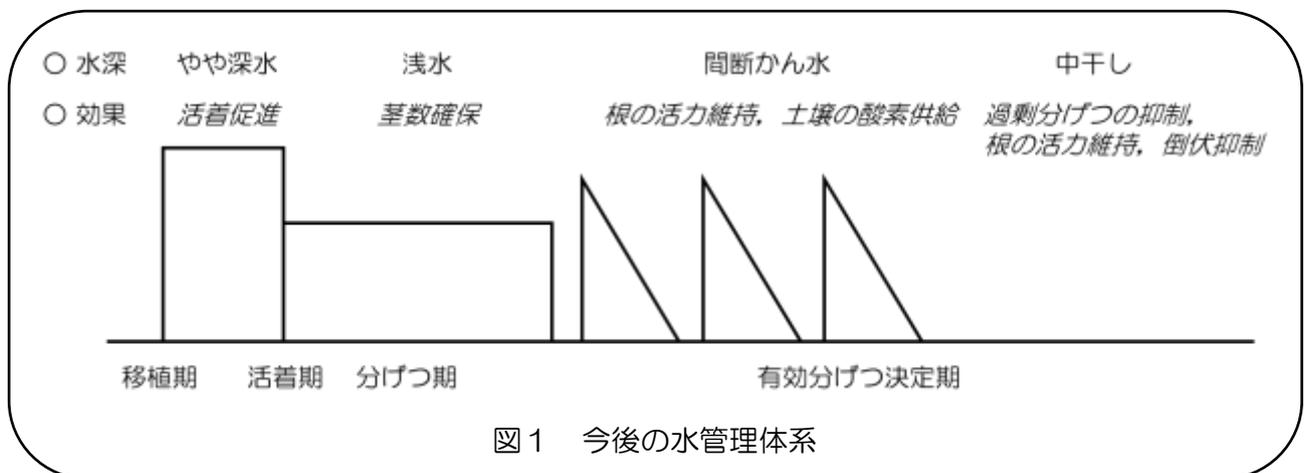


図1 今後の水管理体系

2) 雑草防除 **散布適期を見極め除草剤散布**

雑草は稲の養分を奪うだけでなく、カメムシ類等の害虫を呼び寄せの原因となります。

繁殖力が高い雑草種もあるため、適切な雑草防除に努めましょう。

- ✓ 初中期一発剤を散布したほ場で残草が見られる場合は、中期剤・後期剤を散布しましょう。※散布時は雑草の種類・葉齢、稲の葉齢を確認しましょう
- ✓ 使用方法が「湛水散布」の除草剤は、田面が露出した状態だと除草剤効果の低下につながります。除草剤の散布時は畦畔からの漏水がないかを確認し、十分に水を張りましょう。
- ✓ 水田内のノビエやイヌホタルイ等の雑草は、カメムシ類を水田に呼び寄せ、斑点米被害の原因となるので、雑草防除を徹底しましょう。



図2 イヌホタルイとカメムシ発生について

～ ノビエ以外の雑草防除を行う際の注意点～

水田除草剤のラベルは「移植後5日～ノビエ 2.5 葉期」のように使用時期が記載されており、ノビエ以外の雑草種への使用時期は「使用上の注意事項」に記載されている場合があります。ノビエ以外の雑草が見られる場合は「使用上の注意事項」を読み、散布晩限に達する前に散布しましょう。

3) いもち病防除 補植用苗は速やかに処分

- ✓ 補植用苗（残苗）は本田でのいもち病発生の原因になります。補植作業が終了したら速やかに処分しましょう。
- ✓ 残苗でいもち病を確認した場合、周辺の稲で発生していないか確認しましょう。
- ✓ 飼料用米や直播栽培などで箱施用剤を施用していない場合は、水面施用剤を散布しましょう。

◆◆◆◆◆春の農作業安全確認運動実施中（4月1日～6月30日）◆◆◆◆◆

シートベルトを着用することで死亡事故の発生を大幅に低減できることを踏まえ、シートベルト、農業者に対して、乗用型トラクター運転時のシートベルトの装着徹底の呼びかけを行います。

重点推進テーマ 「しめよう！ シートベルト」

◆◆◆◆◆農薬危害防止運動（6月1日～8月31日）◆◆◆◆◆

6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

「農薬は 周りに配慮し 正しく使用」

東北地方 1 か月予報
(6月4日から7月3日までの天候見通し)

令和4年6月2日
仙台管区气象台 発表※抜粋

<特に注意を要する事項>

期間のはじめは、気温がかなり低くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温は、平年並みまたは低い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	40	40	20
【降水量】	東北地方	30	40	30
【日照時間】	東北地方	30	40	30

<気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	80	10	10
2 週 目	東北地方	30	50	20
3~4週目	東北地方	20	40	40

水稻乾田直播情報

県内では乾田直播栽培の取組が増加していますが、大崎管内は導入事例が少ない状況です。米価下落に対応するための低コスト技術でもありますが、倒伏に強い特性からブロックローテーションのなかで活用している事例も見られるなど、水田農業において乾田直播栽培の導入のメリットは大きいものがあります。令和4年度は実施農家の協力を得ながら、乾田直播栽培の情報を提供していきます。



グレートリルでの播種作業 5/15



播種後にローラーで鎮圧



出芽の状況 5/30

